

# 第3学年〇組英語科学習指導案

令和5年

1 単元名 Program7 Is AI a Friend or an Enemy? (*Sunshine English Course 3*)

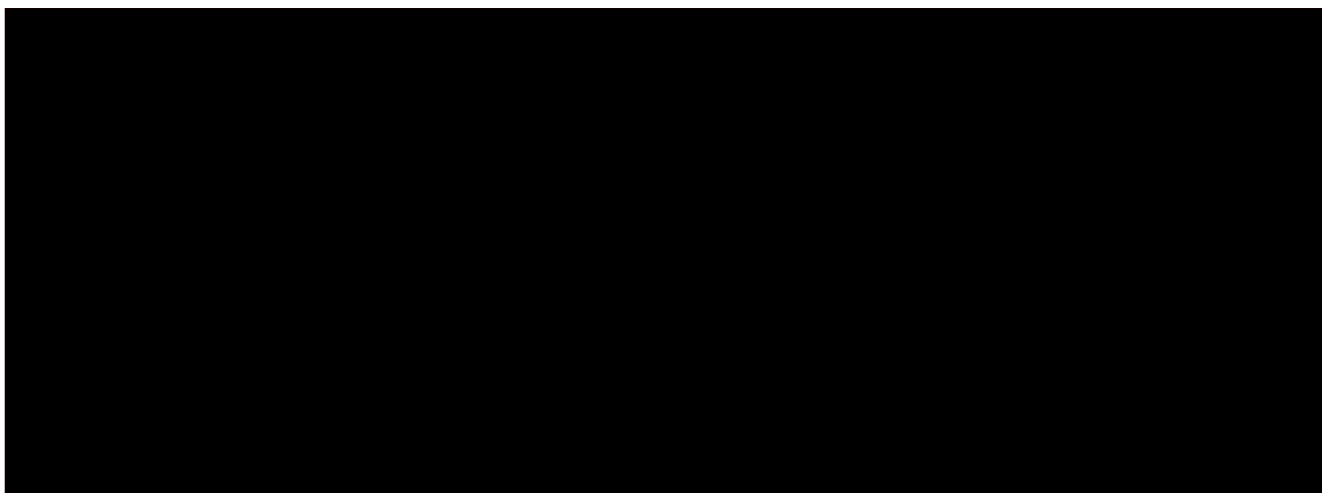
2 単元について

(1) 教材観

本課は、AIの現状と可能性についての題材である。AIは、現在の私たちの生活にとって身近なものとなっている。そして、私たちの生活をより便利なものに行っている。例えば、ロボット掃除機や、オンラインの広告などである。また、AIは信じられないレベルまで発展している。人間のできないことを簡単に行い、人々はAIから将棋などを学んでいたり、医療の面でも活用したりしている。一方で、AIのメリット・デメリットを理解し、どのように暮らしていくのかを問いかける内容となっている。今後の社会が、ますます予測が困難な時代の中で、AIと共存していくために、どうしたらよいのか。本題材を理解し、お互いの意見を交換することで、自分の考えを深めるきっかけとしたい。

言語材料としては、仮定法についての基本的な事項である。現実とは違うことを仮定して伝えることができ、表現の幅が大きく広がる。コミュニケーションの目的・場面・状況等を考慮し、自分の思いや考えを適切な言語材料を活用し、表現できるように継続的に指導していく。

(2) 生徒観



### (3) 指導観

小学校の外国語活動の内容を踏まえ、「聞くこと」「話すこと」を中心に、「読むこと」「書くこと」の時間も確保し、4技能のバランスのとれた授業を意識してきた。また、新学習指導要領の改訂を受け、「話すこと（やりとり）」の活動を多く取り入れるように心がけてきた。例えば、Explanation Game、Small Talk、Retelling+QA、ALT との実技テストなどである。特に Retell においては、自分の言葉で伝えられるようにするために、「読むこと」において、Key Sentence や Key Words の確認をしたり、内容に関する質問を作ったりすることなどの活動を積み重ねてきた。

本単元は、Program としては最後である。これまでの集大成として、AI についてという社会的な話題について、考えたことや感じたこと、その理由などを自分の言葉で自信を持って伝え合う力を養っていく。

### 3 研究主題との関連

生徒の発信力を高め、互いに伝え合う指導の工夫  
～Retelling の継続的・計画的な指導を通して～

本校研究主題を受け、英語科では、英語という言語を通して積極的にコミュニケーションを図ることで、発信力を高め、互いに伝え合うことのできる生徒の育成を目指している。特に、Retelling の活動を継続的・計画的に行うことを通して、教科書で学んだ内容を自分の言葉で要約し、自分の考えを付け加えて友達に伝える力を身につけさせたい。また、3年生では1分間で50語以上の要約をし、さらに30秒間即興で英語による問答ができることを目標とした。

そのために、キーワードやキーセンテンスを見つけることや、新情報や感想・意見などを付け加えることなどを繰り返し指導してきた。また、伸びを実感しやすいように Word Counter を取り入れ、発話数を視覚化した。Retell を通して、学んだことへの理解を深め、次の課題を見つけることができる深い学びのある授業を目指している。

#### 4 単元の目標

観点	目標
知識及び技能	仮定法のうち基本的なものを理解している。
思考力、判断力、表現力等	AIについて、伝える内容を整理し、互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合っている。
学びに向かう力、人間性等	AIについて、伝える内容を整理し、互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合おうとしている。

#### 5 単元の評価規準

(本単元における「聞くこと」「読むこと」「話すこと(発表)」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やりとり]	[知識] 仮定法のうち基本的なものを理解している。 [技能] 相手の立場に立ち、現実にはない仮定や想定を、仮定法を用いて伝え合う技能を身につけている。	AIについて、伝える内容を整理し、互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合っている。	AIについて、伝える内容を整理し、互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合おうとしている。
書くこと	[知識] 仮定法のうち基本的なものを理解している。 [技能] 相手の立場に立ち、現実にはない仮定や想定を、仮定法を用いて伝え合う技能を身につけている。	AIについて、伝える内容を整理し、互いに事実や自分の考え、気持ちなどを論理的に書いている。	AIについて、伝える内容を整理し、互いに事実や自分の考え、気持ちなどを論理的に書こうとしている。

## 6 指導計画と評価規準（8時間扱い・本時7/8）

時間	◆ねらい ○学習活動	主な評価規準（観点） <評価方法>
1	◆仮定法過去の特徴を理解する。 ○Scenes1	第1時～第6時においては、記録に残す評価は行わないが、指導に生かす見取りは毎時間行う。
2	◆仮定法過去の特徴を理解する。 ○Scenes2	
3	◆仮定法過去の特徴を理解する。 ○Scenes3	
4	◆Think1の英文を読み、概要を理解する。 ○Think1	
5	◆Think2の英文を読み、概要を理解する。 ○Think2	
6	◆Think3の英文を読み、概要を理解する。 ○Think3	
7 本時	◆AIについて、伝える内容を整理し、互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合う。 ○Retelling	・仮定法のうち基本的なものを理解している。 ・AIについて、伝える内容を整理し、互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合っている。<観察・ワークシート>
8	◆現実とは違うことを仮定して伝え合う。 ○Interact	・仮定法のうち基本的なものを理解している。 ・AIについて、伝える内容を整理し、互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合っている。<観察・ワークシート>
後日	ペーパーテスト 実技テスト	・仮定法のうち基本的なものを理解している。 ・社会的な話題について、伝える内容を整理し、互いに事実や自分の考え、気持ちなどを表現している。<ペーパーテスト・実技テスト>

## 7 本時の学習

### （1）本時のねらい

- ・AIの現状と可能性について伝え合うことができる。

（思考・判断・表現）（主体的に学習に取り組む態度）

(2) 本時の展開

	学習活動・学習内容	☆教師の働きかけ ・指導上の留意点 ◎評価<方法>
導入 5分	<p>&lt;Greeting and warm-up&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Greeting each other</li> <li>・ Explanation Game</li> </ul> <p>Students express the word which another student doesn't know. EX.) どこでもドア タケコプター</p>	<p>・知っている単語や、文法を使って、30秒間でわかりやすく相手に伝えさせる。</p> <p>☆質問したり、あいづちをしたりするなどのやりとりを促す。</p> <p>☆表現を全体でシェアして、内容面・言語面に対してフィードバックする。</p> <div data-bbox="632 618 1453 734" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ The door through which we can go anywhere.</li> <li>・ The tool with which we can fly to the sky.</li> </ul> </div>
展開 40分	<div data-bbox="349 792 1498 904" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[学習課題] AIの現状や可能性について、1分間でRetell150語以上、QA30秒でやりとりができる。</p> </div> <p>&lt;Review&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Mini Retell</li> </ul> <p>Students retell each story using key sentences or by their own words in 30 seconds. (5分)</p> <div data-bbox="392 1240 1476 1375" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Daniel and Helen are talking about a robot vacuum cleaner. It has AI inside, so it remembers the maps of the rooms. It is amazing.</li> </ul> </div> <p>&lt;Make summaries&gt;</p> <p>Students make a summary with a handout and practice reading it. (10分)</p> <p>&lt;Retelling&gt;</p> <p>Students retell a story with their own words, opinions, added information. Listeners ask questions after the retelling. (15分)</p>	<p>・ Key Sentenceを基に、3文程度でRetellをする。</p> <p>☆自分の言葉で言い換えたり、アイコンタクトを意識させたりする。</p> <p>・ ワークシートを活用し、要約文を作成する。</p> <p>☆早く終わった生徒に板書させ、スローラーが確認できるようにする。</p> <p>・ 要約文の音読練習をする。</p> <p>・ 座席毎に、Think1～3の分担を指定し、Retellする。</p> <p>・ 3回ペアを変えて、練習する。</p> <p>・ 4回目でWord Counterを用いて、語数を記録する。</p>

		<p>☆アイコンタクトやリアクションをさせる。</p> <p>☆言語面・内容面から全体にフィードバックをする。</p> <p>◎AI の現状と可能性について伝え合うことができる。また、伝え合おうとしている。</p> <p>&lt;観察&gt;</p>
	<p>Today AI has developed to a level that is unbelievable to image. The shogi program called Ponanza is a good example. AI can store and process a lot of information quickly. I wish I had such abilities. If I had them, I would pass the exam easily.</p> <p>&lt;Questions&gt;</p> <p>Which do you think is stronger Ponanza or Fuji Sota?</p>	<p>&lt;Demonstration&gt;</p> <p>3 students demonstrate their retelling and the others make questions.</p> <p>(5分)</p> <p>&lt;Practice Writing&gt;</p> <p>Students write the retelling that they said.</p> <p>(5分)</p>
<p>ま と め 5 分</p>	<p>&lt;Consolidation&gt;</p> <p>Students review today's learning.</p>	<p>・JTE から、本時の評価と今後のアドバイスを伝える。</p> <p>・Portfolio に今日の授業を振り返り、「できるようになったこと」「これからできるようにしたいこと」を記入させる。</p>

※本時の見てもらいたいポイント

- ①Retell の指導の流れ
- ②生徒のやりとり・英作文について

※資料 期末試験問題 (例)

次の英語の質問に対して、自分の考えを50語以上の英語で書きなさい。

Which do you like better, traveling by car or traveling by train?

<採点基準>

	5点	4点	3点	2点	1点	0点
文量 (思判表)	50語以上	41~49語	31~40語	21~30語	20語以下	無解答
つながり (思判表)				つながりことばを使用 良い	単調	無解答
正確さ (知技)	Perfect	軽微なミス	ミス目立つ	伝わらない	伝わらない	無解答

# Let's Write

_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	10語
_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	20語
_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	30語
_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	40語
_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	50語
_____	_____	_____	_____	_____

	5点	4点	3点	2点	1点	0点
文量 (思判表)	50語以上	50~41語	40~31語	30~21語	20~11語	10語以下
説得力 (思判表)				客観的 かつ 具体的	弱い	ない
正確さ (知技)	Perfect	軽微なミス	ミス目立つ	伝わらない	伝わらない	無解答